

# ほっと とゆうばり

2007  
12/1  
第3号

◆ 第四回の集まりは十一月十六日(金)に開かれ、園委子委員の進行で、前回の話題を振りかえりながら、三つの分科会に別れ賑やかに話し合いました。その概要をお知らせします。

◆ 前回話しが出た「地域交流会」を南部地区で実現(先月十二日)できました。詳しくは裏面をご覧ください。

### ◆ 環境・防犯・交通安全 分科会

#### ① 除雪について

札幌の大学からインターンシップとして、学生ボランティアによる除雪支援の申し入れがきている。最も有効(友好)になるような受け入れはどうしたらいいか? 町内会組織などに投げかけて具体化したい...

#### ② ゴミの不法投棄について

橋の下や脇道に不法投棄が目立つ。「しない」「させない」「見逃さない」を呼びかけましょう。

### ◆ 観光・文化 分科会

#### ○ 桜マップについて

来春の桜の開花に向け、どんな人たちで、どんな方法で本数を数えたり、マップを作ればよいのか、今後煮つめていきたい。また、桜や花に詳しい政氏委員を御意見番に『桜おじさんコーナー』を「ほっと」に設けたい。

「ほっと」に「桜おじさん」コーナーを「ほっと」に設けたい。また、桜や花に詳しい政氏委員を御意見番に『桜おじさんコーナー』を「ほっと」に設けたい。

### ◆ 福祉・生活全般 分科会

#### ○ 地域交流会について

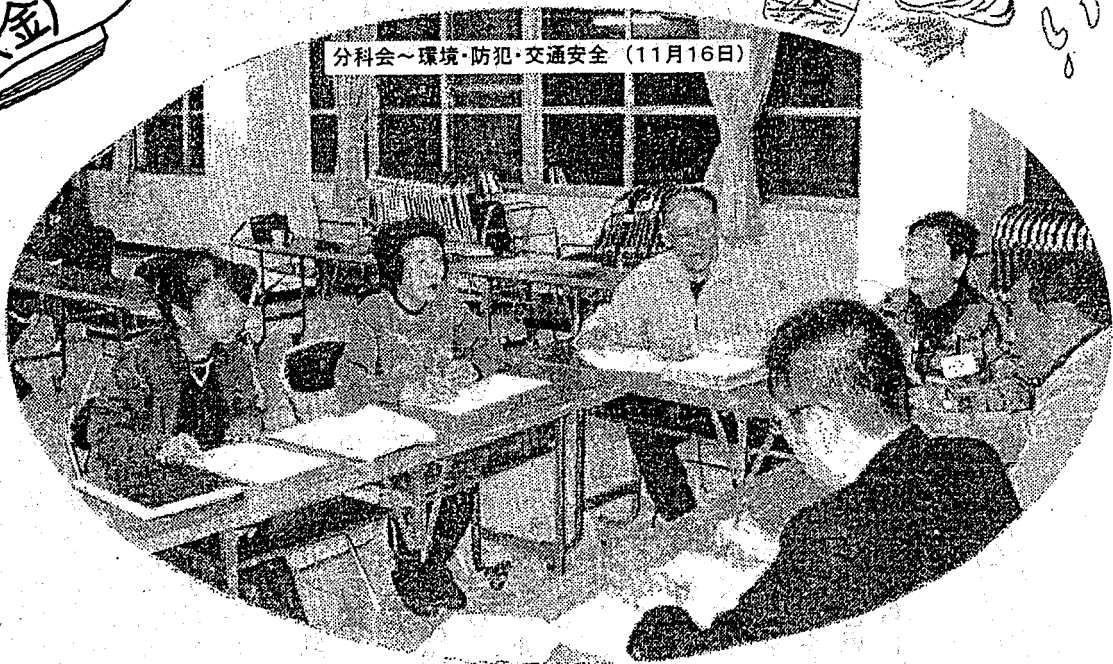
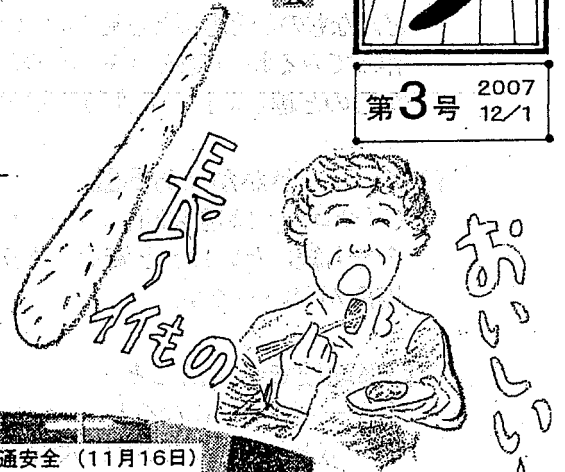
各地域で夕張ならではのおいしいもの試作と試食をしてみたいし、何かのイベントの時に作って売り出せれば。

#### ◎ お手紙がきました

「夕張市民向けの活動が主なようですが、市外の人たちに向けた活動もあると思います。市外へ、夕張各地域の情報を発信できるようにチラシ等を作れば、市民一人ひとりが夕張の営業マンになれると思う」(参考になります)

## 伝言板

ゆうばり再生市民会議の運営委員会を第二金曜日に先月まで第三金曜日に開催してききましたが、「ほっと」に「ゆうばり」を余裕をもって作り、「広報ゆうばり」に折り込みするためです。ということで、今月は十四日(金)午後六時半から、いつもの南支所2階において開きます(暖房入っています)。ご参加お待ちしております



【後記】 十二月十四日といえはご存知「赤穂義士」討ち入りの日。われら浪士、藤倉邸へいざ出陣！夕張の行く末案じる怒涛の刃(やいば)受けてみよ。何処ぞ藤倉殿 お出会いめされ (留守でした...S)

★事務局: 夕張市役所 地域再生課 まちづくり再生係  
Tel 52-3141  
★編集・発行: ゆうばり再生市民会議 広報部

★来年は2008年正月11日(金)午後6時半から開催します。

# ◎南部地区との交流会を行なって◎

～福祉・生活分科会～  
(ゆうばり再生市民会議 三島京子)



## ●交流会の目的

1. 夕張の各地域で交流会を行なうことで、その地域を知ろう！
2. ゆうばり特産品を材料にした“長いもおはぎ”を試食してみよう！
3. 室蘭の方からの応援メッセージが入った“手作りふきん”を交流会で手渡そう！

11月12日(月) 13時から

南部コミュニティセンターで開きました。

参加は→南部地区の方々 20名  
市民会議の委員 7名  
市役所の担当者 2名  
報道の方々 5～6名



室蘭から贈られた手作りふきん

★はじめに驚いたのは参加して下さった方が多いことでした。情報はすぐに伝わり、声かけあって参加していただいたのだと感激しました。こちらからは“長いもおはぎ”を作っていました、おいしい漬物を用意していただきました。

## ●長いもおはぎの感想は？

○やわらかくて食べやすい○歯がなくても食べられる○長芋というからどんなものかと思ったら見かけは本当におはぎでしょ！○家(うち)でも作ってみるわ○食感がふつうのおはぎより柔らかい○つると食べられた○のど越しに長いも独特のホクホク感が残る○ちょうど良い甘さ

## ●南部地域がかかえる問題

○「サロン」は週2回、(月)・(木)に行なっているが、11月までです。今後も続けたいけれど資金がありません。○「サロン」がなければ集まる場所がないのです。

## ●南部地域で学んだこと

○キーパーソンになる方が3～4名いて、それぞれが役目を持っている。  
○元気と、人のつながりが大切であることをあらためて感じてきました。

## まちづくり再生系のチョッピリ本音

私が市役所に採用になった年は、既に国内の石炭産業が斜陽を迎え、夕張最後の炭鉱である三菱南大夕張炭鉱が閉山した年(1990)でした。今年四月からは、「ゆうばり再生市民会議」の事務局となる「地域再生課まちづくり再生係」に異動となりました。

それまで福祉事務所に勤務していたため、市民と接する機会は数多くありましたが、「市民会議」のような市民との対話は初めての経験です。街も人も暗くなりがちの情勢ですが、まちづくりに熱心な運営委員の方々と行政が対等に、じっくり話し合うことにより、街が少しでも明るくなればと期待しています。

いつも運営委員の皆さんに叱咤激励され、冷や汗をかく毎日ですが、今後より多くの市民の皆さんの意見に耳を傾け、「一人ひとりが支え合う街」を目指したいと思います。皆さんの参加をお待ちしています。

「市民会議」を支える市役所地域再生課まちづくり再生係の皆さんのコメントをときどきいただきます。トッピは再生係長の平塚浩一さん(40)です。

少しがたいですけど、おはぎから...